

2018年3月26日
株式会社 住金システム建築
代表取締役社長 生井 敏夫

関西地区で受注躍進

関西営業チーム（浦上チーム長）の受注が好調である。今期の通期受注高は前期14.6億円の2倍超となる31億円に達し、過去最高となる見込みである。

関西営業チームは大阪を営業拠点とし、大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山を対象に、地域密着型の営業展開を推進している。受注が好調の背景として、当社は、基礎を含め、発注者側が初期段階で非常に精度の高いコストプランニングが出来ること、一般工法に対して低価格で短工期であること、元請ゼネコンの監督員不足や現場の職人不足が更に深刻化し、当社の商品のニーズが高まってきたことなどが挙げられる。

同地区の今期の成約棟数は32棟。内、用途別では、工場19棟、倉庫9棟、事務所2棟、店舗1棟、その他1棟。商品別ではティオ20棟、トレオ12棟。建設地別では、大阪4棟、京都6棟、滋賀5棟、兵庫6棟、和歌山5棟、その他地区6棟である。

1棟当たりの平均床面積は2,525㎡であった。

全国の通期受注高は220億円台に達し、過去最高を更新する見込みである（前期205億円）。主たる販売先である「住金システム建築会」の2月末の会員数は、前期末より79社増え1,488社となった。内、同地区は9社増え、178社である。



物件名／「和歌山リサイクルセンター建築工事」 建設地／和歌山県和歌山市
用途／工場 商品／トレオ 平屋／施工床面積4,078㎡
建築主／大栄環境株式会社様 設計・施工／株式会社浅川組様
特記／46mスパン無柱大空間と低価格・短工期が評価された。